

2015年9月10日(木)発生「関東・東北豪雨」被災支援に関して

神の愛、人の祈りと働きに、支えられて

水海道教会 加藤久幸

2015年9月10日(木) 関東・東北豪雨により鬼怒川が決壊し、常総市水海道も浸水被害を受けました。水海道教会・二葉子ども園に浸水が始まったのは、9月11日(金)未明でした。教会関係者50名、こども園教職員25名、こども園園児120名のご家族、各々の半数近くが何らかの形で被害を受けました。常総市北部の決壊現場と違って、水海道は見る見るうちに泥水に浸かるという様相でした。教会と園は床上(約150cm)浸水でしたが、ご近所では1階部分が水没するご家庭もありました。

9月12日(土)夕方、水が引き始めたので教会・こども園の関係者が集まり、13日(日)の礼拝を教会で行うことと午後からは片付けを始めることを決定しました。13日(日)午後、茨城地区の牧師が集まり、水海道教会ボランティアセンターを設置し動き始めました。14日(月)には、関東教区4役が問安をしてくださり、翌15日(火)には臨時の常任常置委員会を開催し、対応を協議してくれました。

支援のネットワークは、地区・教区・教団を中心に、私がかつて在職した横浜YMCAそして日本YMCA同盟、私の母校である農村伝道神学校関係者、水海道教会出身の太田春夫牧師(須賀川教会、栄光学園)の関係者、多くの友人、多数の見知らぬ方々から、たくさんのお祈りとご支援をいただきました。地元の水海道の友人・関係者、園の保護者関係の方々にも、日々お支えをいただきました。

私たちの園は、建物への初めての公的支援を受け、認定こども園の新園舎建築中でした。

9月11日(金)は本体の資材搬入の予定でしたが、中止となり、結果として難を逃れました。教会と園では、建物が会堂・牧師館・園庭にあった仮設園舎、車両は園バス・公用車など5台、そして分散保管していたたくさんの什器・備品、その多くが被害を受けました。

教会と園では、園の復興を優先していくとの方針を立て、この方針を支援の方々も認めてくれました。園は、行政のご好意により、隣の坂東市の保育所に一時移転(避難)し、10月5日(月)から今年2月末までの約5か月間、保育を続けることができました。

完成した新園舎の仮使用が始まり、3月17日(木)第70回卒園式を行うことができました(2015年度在園児は、旧園舎、仮設園舎、移転園舎、新園舎の4つを経験しました)。園庭の遊具整備など園の復興事業はなお続いています。4月になり教会の本格的な復興工事が始まりました。会堂の復興は必要最小限度にとどめ、牧師館を建て替えるという方針を4月24日教会総会において決定する予定です。教会が決断するのであれば、少なくとも年内はその事業が続いていくことになるでしょう。なお、お祈りをお願いいたします。

牧師の体験も交えるならば、阪神淡路大震災、中越地震などの関わりを経て、東日本大震災の時には、物資・献金の支援だけでなく、教会員も教職員もボランティアなどに出かけていくようになりました。「弱さを覚えて」「寄り添う」「スロワーク」など、たくさんのことを学びました。そして、今度は、私たちが支えと配慮を受けることを、身をもって体験しました。地域の方々と共に水に浸かりましたが、それは神様の愛を体験する大切な出来事でもあったと受けとめています。

私たちの教会と園は、共通の年度主題を掲げています。2015年度は「平和をつくる」、今年度は「私たちの平和」です。熊本地震が起こり、なお広域で余震が続いています。主の祈りが私たちの祈りであり、主の平和が私たちの平和です。紛争や災害の時においても、そういう現実においてこそ、主の平和が実現するよう、私たちも共に歩みたいと思います。



新園舎と仮設砂場